

令和2年度  
由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会  
「分科会」

と き 令和3年1月20日（水） 午前9時30～  
と ころ 消防本部4階「大会議室」

－ 次 第 －

1 開 会

2 報告事項

3 協 議

(1) 由利本荘市地域公共交通網形成計画 実施事業等の検証について

- ・【目標1】「“使える”公共交通へ」について
  
- ・【目標2】「“自分ごと”の公共交通へ」について
  
- ・【目標3】「“ライフスタイル提案型”の公共交通へ」について
  
- ・【目標4】「“守って育てる”山ろく線」について

(2) そ の 他

4 閉 会

# 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会 「分科会」出席者名簿

【委員】

※敬称略／備考欄の職氏名は代理出席者

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
2号	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社	総務部長	酒 井 宏 彰	総務部企画室副課長 清水大
	由利高原鉄道株式会社	代表取締役社長	萱 場 道 夫	総務経理課長 金野広志
	羽後交通株式会社	取締役社長	齋 藤 善 一	営業担当次長 平元久雄
	一般社団法人秋田県ハイヤー協会	本荘由利支部長	小 石 和 弥	
	国土交通省東北運輸局	秋田運輸支局長	五 十 嵐 誠	(欠席)
	秋田県観光文化スポーツ部	交通政策課長	小 松 勝 統	副主幹 吉尾千秋
	一般社団法人由利本荘医師会	会長	渡 邊 廉	(欠席)
	由利本荘市PTA連合会	会長	高 橋 稔	
	由利本荘市身体障害者協会	会長	三 浦 良 明	
	由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	土 田 典 子	(欠席)
	由利本荘市老人クラブ連合会	会長	前 川 侔	(欠席)
	公益社団法人由利本荘青年会議所	理事長	鈴 木 賢 幸	(欠席)
	鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	正 木 正	
	由利本荘市企画調整部	部長	三 森 隆	
	本荘地域公共交通利用者		菅 原 真 理	(欠席)
	矢島地域公共交通利用者		佐 藤 久 美	(欠席)
岩城地域公共交通利用者		川 上 幸 一	(欠席)	
3号	由利地域公共交通利用者		多 田 厚	
	大内地域公共交通利用者		菊 地 洋	(欠席)
	東由利地域公共交通利用者		長 谷 山 博 昭	
	西目地域公共交通利用者		鷹 島 恵 一	(欠席)
	鳥海地域公共交通利用者		高 橋 莊 一	(欠席)
	秋田大学	准教授	日 野 智	◆分科会 会長
	秋田県立大学	准教授	星 野 満 博	◆分科会 副会長

【随行：交通事業者】

所属	職名	氏名	備考
羽後交通（株）事業本部 輸送課	課長補佐	金 谷 文 之	
羽後交通（株）本荘自動車営業所	所長	高 橋 昭 博	

【事務局：地域振興課及び各総合支所】

所属	職名	氏名	
企画調整部 地域振興課	課長	木 内 卓 朗	
	班長	三 浦 利 彦	
	主席主査	伊 藤 善 裕	
矢島総合支所 市民サービス課 振興班	主査	東 海 林 ひろ子	
岩城総合支所 市民サービス課 振興班	主事	澤 田 啓 吾	
由利総合支所 市民サービス課 振興班	主査	小 田 嶋 一 成	
大内総合支所 市民サービス課 振興班	主査	齊 藤 晋	
東由利総合支所 市民サービス課 振興班	主査	長 澤 辰 徳	
西目総合支所 市民サービス課 振興班	主事	阿 部 林 太 郎	
鳥海総合支所 市民サービス課 振興班	主査	豊 島 隆 浩	

新型コロナウイルス感染症対策支援事業

<地域公共交通利用促進緊急対策事業>進捗状況

新型コロナウイルス感染症の影響により利用客が大幅に減少している公共交通機関の利用喚起を図るため、乗車券等の割引販売などを行う交通事業者に対し割引分を助成する補助事業を実施中であり、進捗状況は以下のとおりです。

R2.7.15  
市広報より抜粋

◇新型コロナウイルス感染症対策 追加支援事業

**6 地域公共交通利用促進事業**  
(交通事業者が実施する割引に対する支援)

問 地域振興課  
☎ 24-6378

いずれの事業も予算額に達し次第割引終了します

割引開始 ~ R2.12 末  
補助金執行状況

**路線バス応援事業** [羽後交通]

割引内容 ●回数券：50%引き  
●ゴールドフリー定期券：50%引き  
販売期間 7月20日(月)～令和3年2月28日(日)

回数券：5,605,000円  
GF券：395,000円  
執行額：6,000,000円  
予算額：6,000,000円  
補助執行率：100%

**3セク鉄道応援事業** [由利高原鉄道]

割引内容 ●団体乗車券：50%引き  
●貸し切り列車：75%引き  
●各種フリー券：25～50%引き  
(上記は一部県補助を含めた割引きです)

販売・利用期間  
7月1日(水)～令和3年2月28日(日)

団体乗車：235,250円  
貸切列車：828,000円  
フリー券：1,322,000円  
執行額：2,385,250円  
予算額：2,750,000円  
補助金執行率：86.7%

**タクシー応援事業** [市内タクシー業者]

割引内容 ●初乗り運賃：500円割引  
※降車時に次回利用可能な割引券を配布。  
(初回は通常料金の支払いが必要)

配布・利用期間  
7月20日(月)～令和3年2月28日(日)

準備枚数：20,000枚  
使用枚数：15,544枚  
執行額：7,772,000円  
予算額：10,000,000円  
補助金執行率：77.7%

【留意事項】

・上記金額は補助金の執行額であり、各交通事業者の「販売額」ではありません。

例) 路線バス回数券 = 50%補助

⇒ 販売額 11,210,000円 \* 補助率 50% = 執行額 5,605,000円

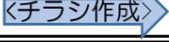
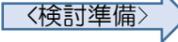
【協議案件】 『由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）』 掲載事業一覧

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
事業1-1	地域間幹線である路線バス・鉄道を維持する	由利本荘市／バス事業者／鉄道事業者	・本市の中心市街地である本荘地域と各地域を結ぶ路線バス、鉄道の運行を維持するため、交通事業者に交付している運行費補助等を継続する。	補助金交付	同左	同左	同左	同左
			・近年、様々な形で進歩を続けるキャッシュレス決済やロケーションシステムの導入を検証・検討し、利便性の向上に努めるとともに、バスパックなどの企画や貨客混載の実施による生産性向上の取り組みを継続し、収支改善を図る。	循環バスによりバスロケ実証実験の実施 バスパック継続	バスロケ導入効果のある路線バスへの導入 キャッシュレス検討	バスロケ拡大		
			<事業スケジュール>⇒	<実施>				
事業1-2	地域内幹線であるコミュニティバスの運行と維持	由利本荘市	・主に路線バスの代替交通として地域内の幹線を運行している市コミュニティバスの運行を継続する。	運行継続基準の策定	令和5年以降の運行を検討 スクールバスとの連携などについて検討開始		新契約締結	新契約運行継続
			・路線バスと接続する乗り継ぎ拠点を核としたフィーダー交通を維持することで、地域内の交通ネットワークの充実を図る。	同上	同上	同上	同上	同上
			・地域内にまとまったニーズがあると認められる場合は、基準を設けた実証運行を行い、持続可能性に十分配慮したうえでフィーダー交通を導入する。	P19にある空白地域において対応 (事業2-3により)	必要に応じて同左にて対応していく			
			<事業スケジュール>⇒	<地域要望等に応じ随時検討>				
				<実施>				
事業1-3	各種交通モード間の接続強化	鉄道事業者／バス事業者／由利本荘市	・既存の各種交通モード間の接続の利便性を向上させることで、利用者がスムーズに公共交通機関を利用できる環境を整える。	R3.4ダイヤ改正にむけ調査・検討を行う		コミバス新契約においても接続に配慮する		
			・地域間幹線である鉄道や路線バスと地域内交通である市コミュニティバス等の乗り継ぎをスムーズにするよう改正を行う。	同上		同上		
			・ただし、乗り継ぎをして地域間を移動する以外にも、地域内の移動ニーズがあることも考えられるので、その点にも十分配慮して改正を行う。	同上		同上		
			・【対象交通モード】 鉄道／路線バス／市コミバス					
			<事業スケジュール>⇒	<検討>	<実施>			
事業1-4	羽後本荘駅ほか乗り継ぎ拠点の整備	鉄道事業者／バス事業者／施設管理者／由利本荘市	・羽後本荘駅の東西自由通路整備に伴い改修されるバスロータリーやタクシー待合場所を最大限活用できるよう運行体制を整える。	ハード整備と運用面について協議・調整していく	※駅舎関係一部供用開始予定	※年度末完成予定		
			・各地域の乗り継ぎ拠点を維持（整備）し、乗り継ぎ環境の向上を図る。	維持整備	維持整備	維持整備	維持整備	維持整備
			・【対象乗継拠点】 羽後本荘駅／矢島駅／岩城みなと駅／羽後亀田駅／前郷駅／道の駅おおうち／道の駅東由利／西目駅／道の駅西目／鳥海菜らんど					
			<事業スケジュール>⇒	<運行体制整備>	<既存拠点の維持整備を実施>			
事業1-5	バス路線や鉄道の運行経路・ダイヤ等の周知とPR	鉄道事業者／バス事業者／施設管理者／由利本荘市	・バス路線については、「いつ」、「どこ」を「いくら」で運行するのかが分からず、乗車するのが不安であるとの声が多い。鉄道を含めた経路図や時刻表、運賃などの情報を掲載したマップを作成する。	情報収集と体裁の検討	完成			
			・各公共施設や乗り継ぎ拠点、市ホームページにて掲出し広く周知できるようにする。		掲出開始	周知・随時改定	周知・随時改定	周知・随時改定
			<事業スケジュール>⇒	<作成準備>	<掲出・周知・改定>			

【協議案件】 『由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）』 掲載事業一覧

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
事業2-1	町内会や老人クラブ等との「対話会」の開催	由利本荘市／地域住民	・鳥海山ろく線や路線バス、市コミュニティバスの沿線などにおいて、町内会や町内老人クラブと「対話会」を開催し、公共交通の現状や利用促進の必要性を説明し、意見交換をすることで住民理解と乗車数の増加に繋げていく。	市全町内会長あて開催依頼の通知をする 市広報により周知	同左	同左	同左	同左
			・特に、市コミュニティバスのうち、利用状況の悪い沿線においては、対話会の際に乗車券を配布し「お試し乗車」を促すことで、乗車することへのハードルを下げ、その後の継続利用に繋げていく。	乗車状況を考慮しピックアップして開催する	同左	同左	同左	同左
			<事業スケジュール>⇒	<実施>				
事業2-2	地域住民の「ちょい乗り」の推進	由利本荘市／地域住民	・公共交通を利用する方が固定化されていることも利用者の減少に歯止めがかからない要因の一つである。	事業2-1により実施	事業2-1により実施	事業2-1により実施	事業2-1により実施	事業2-1により実施
			・そこで、普段は車を使用する方が、月に1度や2度と、積極的な気持ちで、あえて公共交通を利用することで地域の「生活の足」を維持していくことが可能になっていく。	同上	同上	同上	同上	同上
			・事業2-1で実施する「対話会」や各地域で開催される町内会長等が集まる会合などに出向き説明とお願いを繰り返すことで“使わなければなくなってしまうんだな”という意識を持っていただけるようにしていく。	同上	同上	同上	同上	同上
			<事業スケジュール>⇒	<実施>				
事業2-3	「乗り[逢い]交通」事業の導入と推進	由利本荘市／バス事業者／タクシー事業者／地域住民	・地域内の移動に関する課題解決を、地域住民自ら実施する事業を「乗り[逢い]交通」事業と定め、実施までのサポートや経費の一部助成を行っていく。	随時対応	同左	同左	同左	同左
			・交通空白地域や公共交通機関の運行が充実していない地域に対して事業説明を行い、導入を促進していく。	P19にある空白地域において対応（事業2-3により）	同左	同左	同左	同左
			・事業導入の際には、公共交通機関の役割分担に十分配慮するよう交通事業者と協議を行い、市の地域公共交通活性化再生協議会の承認を経て実施する。					
			<事業スケジュール>⇒	<随時 募集・検討協議・導入>				
事業2-4	地域ごとのバスラッピングの導入	由利本荘市	・各地域を運行する市コミュニティバスの車両に、地域特有のラッピングを施すことにより“自分たちのバス”である意識を醸成し、“守り育てる”ための「ちょい乗り」に繋げていく。	鳥海ワゴン2台	岩城マイクロ1台 (4条によりラッピングのみ)	大内ワゴンバス1台		西目ワゴン1台
			・ラッピングは、各路線の車両状態と市の財政状況を考慮して更新される際に施すものとする。					
			<事業スケジュール>⇒	<車両更新時にラッピング実施>				

【協議案件】 『由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）』 掲載事業一覧

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
事業3-1	沿線のスーパーや医療機関との連携	由利本荘市／企業等事業主	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の沿線のスーパーや医療機関と連携し、公共交通利用者の特典がつくスタンプカードを発行することなどで利用を促進し、乗車人数の増加と地域経済の活性化を目指す。</li> </ul>	沿線の店舗に通知や交渉により声掛けをする	可能な店舗から実施 随時募集も行う	同左	同左	同左
			<事業スケジュール>⇒					
事業3-2	高齢化や増加する運転免許自主返納者への対応	由利本荘市	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者による重大な交通事故の発生などを契機に、運転免許を自主返納する市民が増加してきている。その一方で、本市においては農作業などで車を使用することを考慮すると免許を手放すことが難しいという面もある。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が、安心して「おでかけ」することができるように、市コミュニティバスの割引制度の検討を行うとともに、遠方から本荘地域の総合病院に通院する負担を軽減するため、路線バスの上限制導入を検討する。</li> </ul>	割引、企画券、上限制について検討する	同左 導入の方向性を決める	導入・周知	周知	同左
			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金の割引等検討を行う際には、当該事業の持続可能性についても十分配慮する。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>運転免許返納後に受けられる割引制度などをまとめたチラシを作成し、周知を図る。</li> </ul>	チラシ（手作り）作成する				
			<事業スケジュール>⇒	 				
事業3-3	「公共交通 意見箱」の設置	バス事業者／由利本荘市	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通のダイヤやルートの改定には、データやニーズが根拠として必要となるが、現状では、実際に公共交通を利用している市民の意見を直接把握できる体制が整っていない。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>そこで、バス路線の車内および市役所庁舎（各総合支所含む）に「公共交通 意見箱」を設置して、誰でもいつでも意見をあげられるようにする。</li> </ul>	設置場所の選定 箱の制作	設置・周知	周知	同左	同左
			<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な意見をいただきたいことから、様式を定め、氏名・住所・電話番号を記載してもらい、市から問い合わせをすることも明記する。</li> </ul>	様式の検討				
			<事業スケジュール>⇒					

【協議案件】 『由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）』 掲載事業一覧

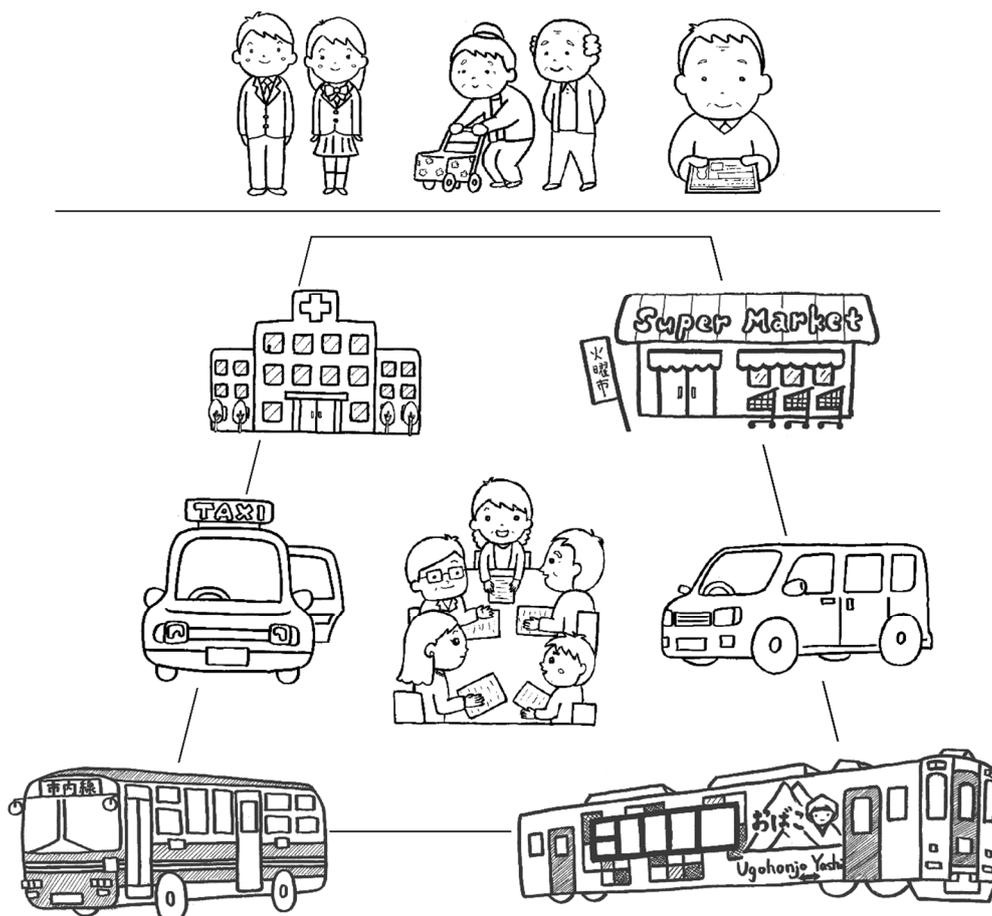
事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
事業4-1	通学定期券購入費助成の検討	由利本荘市／由利高原鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に166千人あった通学定期利用は、平成30年度には108千人にまで減少している。要因の一つとしてJRと比較して2倍以上となっている定期券代がある。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>これを解決する手段として定期券購入費の補助制度が上げられるが、路線バス定期券購入費とのバランスや、新たな財政負担が生じる可能性もあることからアンケート調査を行い、検討を開始する。</li> </ul>	アンケートの実施・検証	検証・方向性の決定			
			<p style="text-align: center;">＜事業スケジュール＞⇒</p>	＜アンケート・検討・判断＞		＜実施＞		
事業4-2	各駅へのフィーダー交通導入の検討	由利本荘市／由利高原鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥海山ろく線は路線距離23kmに12駅が設置されている。しかし、居住地によっては駅まで遠く利便性がよいとは言えない地域も多くある。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの地域において、駅までの移動をしやすい環境を整えることで利用促進が図られる。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域におけるニーズを把握し、フィーダー交通を整備することで、地域住民の鳥海山ろく線の利用が促進されるのか、そのためにはどのような運行形態がマッチするのか検討していく。</li> </ul>	地域の交通環境を考慮し、可能性のある地域に声掛け	同左	運行開始 随時募集する	同左	同左
			<ul style="list-style-type: none"> <li>検討にあたっては事業2-3「乗り[逢い]交通事業」の積極的活用も含める。</li> </ul>					
			<p style="text-align: center;">＜事業スケジュール＞⇒</p>	＜調査・検討・協議＞		＜必要に応じて実施＞		
事業4-3	路線バスとの並走区間に関する整理検討	由利本荘市／由利高原鉄(株)／羽後交通(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥海山ろく線並びに本荘伏見線は、利用する市民にとっては大切な「生活の足」であるものの、欠損額の補填が大きな財政負担になっている現状もある。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>このことから、運行状況や乗車状況の現状を把握し、そこから、互いに協力し調整を図ることで利便性を損なわず財政負担も軽減できるような対策はないか検討を行う。</li> </ul>	現状把握と3者協議の開始	方向性の決定	制度導入		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>検討にあたっては、通学定期券購入費助成や駅までの利便性を高めることで、本荘伏見線に与える影響も考慮しながら、目標4の3つの事業を一体的な対策となるよう検討を進める。</li> </ul>					
			<p style="text-align: center;">＜事業スケジュール＞⇒</p>	＜調査・検討・協議＞		＜必要に応じて実施＞		

## 第5章 地域公共交通網形成計画の基本方針

- ・市で定める上位計画における公共交通の望ましい姿や、市と公共交通の現状を鑑み挙げられている前章における課題を解決する。
- ・現状の交通ネットワークを維持しながら、将来あるべき公共交通の姿を実現するための基本的な方針を定める。

### 計画の基本方針

持続可能な公共交通体系を構築し、  
安心して「おでかけ」できる環境を創る



## 第7章 目標の評価と進行管理

### 1、目標の評価

- ・本計画で掲げた事業が的確に行われ、目指すべき公共交通の将来像に近づいているかを評価するため、それぞれの目標に指標を設けて取り組みの成果を測定し、評価していく。

【注】各目標の実績は全て12月時点での数値です

#### 目標1 “使える”公共交通へ

##### 指標1-1 地域間幹線の路線バスの平均運行本数と乗車人数

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
15本/日・15人/便	15本/日・15人/便
令和2年度実績：16本/日・6.4人/便	

##### 【モニタリング方法】

- ・羽後交通（株）が実施する乗降調査の実績をヒアリングし指標とする。

##### 指標2-1 公共交通カバー率

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
74.6%	86.8%
令和2年度実績：75.4%	

##### 【モニタリング方法】

- ・前計画においてモニタリングしてきた、交通空白地域において導入された公共交通機関のカバー率の調査を継続する。

#### ＜評価・検証（案）＞

- ①地域間幹線の1便当たりの乗車人数が目標から大きく離れているので利用促進の必要性がある。
- ②乗り[逢い]交通事業により若干のカバー率向上を図られた。

#### ＜今後の改善点など＞

- ③現在取りまとめ中のコミバスと路線バスの接続強化を徹底し、さらに高齢者に対する割引等も絡めながら利用者の掘り起こしを図る必要がある。
- ④乗り[逢い]交通事業やコミバスの改正を含め、引き続きカバー率の向上に努める。

## 目標 2 “自分ごと”の公共交通へ

### 指標 2-1 「対話会」の開催回数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
14回	20回
令和2年度実績：26回	

#### 【モニタリング方法】

- ・市が町内会や各種会合等において、市民に対して公共交通の現状や、これから求められるものなどを説明し、意見交換を行うものを「対話会」とし、その開催回数を指標とする。

### 指標 2-2 「乗り[逢い]交通」事業の導入件数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	10件
令和2年度実績：2件（小菅野、石脇新山）	

#### 【モニタリング方法】

- ・「乗り[逢い]交通」事業補助金の交付件数を指標とする。

### 指標 2-3 地域別ラッピング導入の台数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	5台
令和2年度実績：2台（鳥海）	

#### 【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの車両更新に伴い、地域特有のラッピングを施した車両の導入件数を指標とする。

#### ＜評価・検証（案）＞

- ①「対話会」は全地域に出向き多くの市民と意見交換できた。
- ②乗り[逢い]交通は声のある地域に入り、粘り強く事業実施までバックアップすることができ2件導入できたことは評価できる。

#### ＜今後の改善点など＞

- ③「対話会」は本年度、町内会と老人クラブに特化して実施したが、各種団体との意見交換を促進するため市広報による幅広い呼びかけも視野に入れる。
- ④乗り[逢い]交通事業は、大きな交通空白地域がある地域に出向きPRしていくことが必要である。

**目標 3 “ライフスタイル提案型”の公共交通へ**

**指標 3-1 スーパーや医療機関の連携件数**

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	15 件
令和 2 年度実績：1 件（グランマート本荘南店）	

【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの沿線にあるスーパーや医療機関と連携し、互いの利用促進に資する特典制度を導入した件数を指標とする。

**指標 3-2 免許自主返納者の市コミュニティバス利用者数**

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
2,014 件	8,000 件
令和 2 年度実績：1,972 件	

【モニタリング方法】

- ・市の割引制度である「市コミュニティバス半額利用者証」を使用してコミュニティバスに乗車した利用者数をカウントする。

<評価・検証（案）>

- ①スーパーや医療機関との連携は、現在取りまとめしている、接続時間付の時刻表に買い物や通院するための利用パターンを追記することとしており、その完成をもって連携を図っていくこととする。
- ②免許返納者に特化した対策はできなかったため、来年度実施予定の高齢者割引等により推進を図りたい。

<今後の改善点など>

※同上

## 目標 4 “守って育てる” 山ろく線

### 指標 4-1 通学定期利用率

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
22%	40%
令和 2 年度実績：20.8%	

#### 【モニタリング方法】

- ・鳥海山ろく線の沿線である鳥海、矢島、由利地域の高校生の人数に対して通学定期券を購入している人数の割合を指標とする。

※鳥海、矢島、由利地域の高校生

⇒鳥海中学校、矢島中学校、由利中学校の卒業生の人数より

※通学定期券を購入している人数

⇒通学定期券購入時の住所より鳥海、矢島、由利地域居住者を判別

#### <評価・検証（案）>

- ①路線バスとの調整については、組合病院など中心市街地にある病院に通院する際に路線バスが利用され、通勤・通学などの利用は鉄道が多いという棲み分けがある程度なされているということから定期券割引を鉄道に導入し、羽後交通のゴールドフリー券を割引きするとい方向性のもと煮詰めていくことができた。

#### <今後の改善点など>

- ②並走区間に関する協議を進めることができなかったため、今後、同時間帯に運行するダイヤをずらすことなどを視野に入れ、由利高原鉄道・羽後交通・市の三者で検討を進める必要がある。

## 2、目標の進行管理

### (1) PDCA サイクルの実施

- ・本計画で掲げた目標を達成するために、的確に PDCA サイクルを実行していく。
- ・PDCA サイクルは、毎年開催する市地域公共交通活性化再生協議会において、各事業の実施状況および達成状況を報告し、有識者・事業者から広く意見・提案等を収集する。
- ・評価結果などは HP 等を通じて公表を行う。

#### ■ Plan

- ・目指す将来像に近づくための目標を設定し、具体的な事業を計画する。

#### ■ Do

- ・体制・役割等を明確に設定し、実際に事業を取り行う。

#### ■ Check

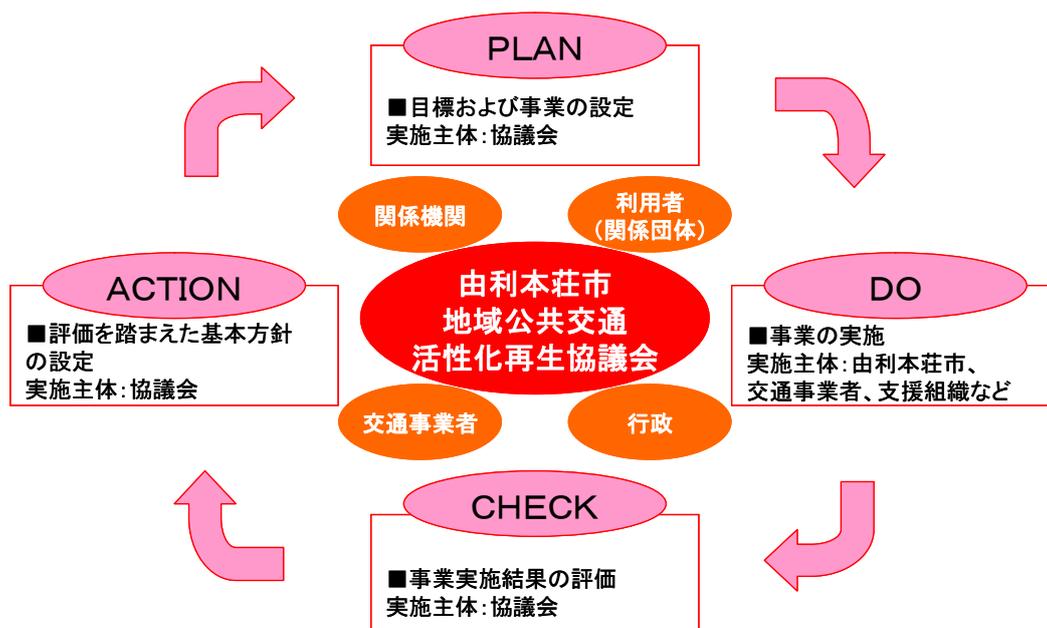
- ・途中で成果を測定・評価する。

#### ■ Action

- ・必要に応じて修正を加える。一連のサイクルが終わったら、反省点を踏まえて再計画へのプロセスへ入り、新たなPDCAサイクルを進める。

### (2) 実施体制

- ・本計画の PDCA サイクルは、市地域公共交通活性化再生協議会を中心に、各取り組み事業の実施主体の協力を得て行う。



(PDCA サイクルの実施体制)

# 由利本莊市 地域公共交通網形成計画

## 事業評価・検証 「資料編」

由利本莊市地域公共交通活性化再生協議会「分科会」

(令和3年1月20日実施)

# (路線バス)運行本数・利用者数調べ

事業Ⅰ-Ⅰ①

(R2.4.1改正 時刻表から)

路線名	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			備考
	運行本数 (便数)	1日あたり 乗車人数	1便あたり 乗車人数													
急行秋田線	18	146.7	8.1	18	153.3	8.5	16	166.0	10.4	16	139.3	8.7	16	139.0	8.7	【国庫補助】 (広域・自主運行)本荘-秋田市
急行横手線	6	36.0	6.0	4	29.0	7.3	6	44.3	7.4	6	29.0	4.8	4	23.7	5.9	【県補助】 (広域)本荘-東由利-横手市
東由利線	8	41.3	5.2	8	47.3	5.9	8	52.0	6.5	8	60.3	7.5	8	56.0	7.0	本荘-東由利 ※H28.10.1から一部路線廃止し「東由利線」に
象潟線	42	316.7	7.5	42	286.7	6.8	38	297.0	7.8	38	279.7	7.4	38	240.7	6.3	【国庫補助】【県補助】 (広域)本荘-西目-にかほ市
(新)市内線	4(6)	26	6.5	3(5)	16.3	5.4	13	117.7	9.1	13	100.7	7.7	13	82.0	6.3	自主運行 ※H30.4.1から「(新)市内線」として運行
中央線	7	84.0	12.0	16	108.0	6.8										自主運行 ※H30.4.1から「(新)市内線」として運行
福祉エリア線	8	14.3	1.8	8	20.3	2.5	8	13.0	1.6	8	12.0	1.5	8	9.7	1.2	
県立大学線	10	14.0	1.4	10	20.0	2.0	10	20.7	2.1	10	36.7	3.7	10	12.0	1.2	自主運行
松ヶ崎線	10	57.3	5.7	10	44.0	4.4	10	48.0	4.8	10	35.0	3.5	10	24.3	2.4	
岩谷線	14	49.7	3.5	14	51.0	3.6	14	54.3	3.9	14	50.3	3.6	14	43.0	3.1	本荘-大内(岩谷)
赤田線	12	110.7	9.2	12	92.0	7.7	12	78.3	6.5	12	77.3	6.4	12	68.3	5.7	
本荘伏見線	22	139.3	6.3	19	114.0	6.0	14	112.3	8.0	14	98.0	7.0	14	101.0	7.2	本荘-由利-矢島-鳥海
地域間幹線 平均値	18	122	6.1	18	114	6.4	16	121	7.3	16	109	6.5	16	101	6.4	

※1 運行本数(便数)はH31.4.1改正のバス時刻表から抽出

※2 利用者数はH30.10.16(火)からの平日3日間のサンプル調査の平均値を使用

※3 各項目の表記について

- ・備考欄の「(広域)」…他市町村へ行き来する路線
- ・備考欄の「【国庫補助】」…国庫補助対象路線
- ・備考欄の「【県補助】」…県補助対象路線
- ・備考欄の「自主運行」…国・県・市からの補助がない路線 ※未表示の路線は『市単独補助』路線

## < コミュニティバス位置情報システム実証実験概要 >

事業Ⅰ-Ⅰ②

- ・TDKの協力を得てIoT技術により社会課題の解決を目指すため低消費電力無線（LPWAN）を活用した取り組みを実施。
  - ・R2.4～6に公開に向け準備し、R2.7に循環バス内の利用者に向け公開した。 ※総閲覧数401件（アクセス者数31ユーザー）
- ◆主な利用者が高齢者のためバスロケの恩恵を受けられない現状が見えたが、システム形態については実施に向け評価ができた。

「循環バス」位置情報システム  
実証実験サイト【青バスルート】

運行中 

停車中 

通信停止中 

 青バスのルートマップ  赤バスのルートマップ



# 公共交通カバー率 算出表

事業1-2

地域名	総メッシュ数	地域ごとの「交通空白地域のメッシュ数」 および 「公共交通カバー率」														増減内容
		計画策定時		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R元年度		R2年度		
		空白地数	カバー率	空白地数	カバー率	空白地数	カバー率	空白地数	カバー率	空白地数	カバー率	空白地数	カバー率	空白地数	カバー率	
本 荘	292	89	69.5	89	69.5	76	74.0	76	74.0	76	74.0	76	74.0	75	74.3	H28:子吉線開設(△13) R2:石脇新山乗合タクシー(△1)
矢 島	97	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	
岩 城	97	6	93.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	H27:道川北線開設(△1)
由 利	101	33	67.3	33	67.3	33	67.3	22	78.2	22	78.2	22	78.2	21	79.2	H29:子吉線 鮎川(西沢方面)延伸(△11) R2:小菅野ボランティア輸送(△1)
大 内	216	54	75.0	54	75.0	52	75.9	52	75.9	52	75.9	45	79.2	45	79.2	H28:羽広軽井沢線 代内(△1)、軽井沢生活改善C~羽広間(△1)開設 R1:羽広軽井沢線 平岫(△2)、及位(△2)、葛岡西里(△3) 開設
東由利	141	82	41.8	82	41.8	40	71.6	40	71.6	40	71.6	40	71.6	40	71.6	H28:八塩線、法内線、大吹川線 開設(△42)
西 目	53	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	
鳥 海	222	69	68.9	64	71.2	62	72.1	62	72.1	62	72.1	62	72.1	62	72.1	H27:中直根線(岡田代・打越デマンド:△2)、間木ノ平~長畑(△3)開設により H28:上樁デマンド開設(△2)
全 域	1167	367	68.6	361	69.1	307	73.7	296	74.6	296	74.6	289	75.2	287	75.4	

※1 メッシュの一つあたりの大きさは500メートル(四方)

※2 バス停から半径300メートル、鉄道駅から半径800メートルに入らない箇所(居住地)を由利本荘市では「交通空白地域」として設定

※3 地域をまたぐメッシュがあるため、地域別の数字の積み上げと全域分の数字は一致しない

## 事業1-3

路線名：由利本荘市コミュニティバス『八塩線』

運休日：土、日、祝日、年末年始（12/31～1/3）

（時刻表中（ ）は予約があった場合のみ乗り入れします）

運賃：おとな（中学生以上） 200円 / 小学生 100円 / 未就学児 無料

運行会社：東交通（株）

問い合わせ：東由利総合支所 市民サービス課 Tel0184-69-2110

予約方法：午前便は前日の21時まで、午後便は当日の9時までに東交通（株）

Tel0184-69-2517へ連絡してください。

メモ：全てフリー乗降区間となっております。

### < H31.4.1 改正 >

- ・ 1便（道の駅東由利行き）横手線本荘行きへの待ち時間軽減のため時刻を調整する。
- ・ 7便（道の駅東由利行き）減便とする。
- ・ 8便（八塩いこいの森行き）新7便とする。東由利線からの待ち時間軽減のため時刻調整する。

No	経由地	1便	2便	3便	4便
1	八塩いこいの森	(5:57)	(8:17)		(10:52)
2	石高	6:00	8:20		10:55
3	泡ノ淵	6:05	8:25		11:00
4	智者鶴	6:07	8:27		11:02
5	向田				
6	黒淵				
7	田代				
8	須郷田				
9	宇戸坂				
10	玉米				
11	館合新田	6:24	8:44		11:19
12	跡見坂	6:26	8:46		11:21
13	東由利公民館前	6:27	8:47		11:22
14	老方郵便局前	6:28	8:48		11:23
15	老方診療所前	6:29	8:49		11:24
16	東由利総合支所	6:30	8:50		11:25
17	道の駅東由利	6:31	8:51		11:26

< サンプルです >

### (路線バス)東由利線

※待ち時間※	0:12	0:09	2:19	1:54
道の駅東由利	6:43	9:00	11:10	13:20
本荘駅前	7:36	9:49	11:59	14:09

### (路線バス)急行横手線

※待ち時間※	0:12	4:27	7:37
道の駅東由利	11:38	15:53	19:03
本荘駅前	12:20	16:35	19:45

※路線ごとの「通院」や「買い物」、「温泉利用」などの利用パターンを追記し、“ちょい乗り”を促進する

## 事業2-1

日付	地域	区分	相手	参加者数
R02/08/20	本荘	老人クラブ	石脇松濤会	10
R02/08/23	西目	町内会	潟端	15
R02/08/23	由利	町内会	大水口	12
R02/09/02	西目	町内会	田高	14
R02/09/06	大内	町内会	大倉沢	28
R02/09/06	由利	町内会	田代	10
R02/09/06	東由利	町内会	田代	20
R02/09/11	本荘	老人クラブ	赤田楽生会	26
R02/09/15	東由利	老人クラブ	蔵壮寿会	10
R02/09/16	鳥海	老人クラブ	第5白寿会	25
R02/09/23	本荘	老人クラブ	石沢柏養会役員会	21
R02/09/24	大内	老人クラブ	松栄会（松山）	20
R02. 09. 26	本荘	老人クラブ	蓼沼寿会	29
R02. 10. 03	本荘	老人クラブ	大鍬町親和会	24
R02. 10. 08	本荘	老人クラブ	松美町松翠会	35
R02. 10. 18	本荘	町内会	松美町町内会	23
R02. 10. 29	鳥海	老人クラブ	直根栄寿会	14
R02. 10. 29	矢島	まち協	矢島まち協	4
R02. 11. 10	大内	老人クラブ	堀切老人クラブ	18
R02. 11. 24	本荘	老人クラブ	御門町永寿会	16
R02. 11. 29	矢島	町内会	丸森町内会	18
R02. 12. 09	鳥海	老人クラブ	第1白寿会（伏見付）	22
R02. 12. 13	岩城	町内会	相生	25
R02. 12. 13	本荘	町内会	北ノ股	20
R02. 12. 20	由利	町内会	小友町	20

計26回（町内会11、老人クラブ14、まちづくり協議会1）

### 意見まとめ

- ・秋田市のワンコインバスは利用しやすく便利な制度だと思う。
- ・公共交通を利用するにも、そこまで（前郷駅）が遠い。
- ・乗り [逢い] 交通事業が実施されているが、ここ大倉沢で実施するとすればどのようなパターンが考えられるものか？
- ・待合所がほしい。
- ・コミバスを使えば自家用車を使うより費用がかからないので、機会を捉え利用してみたい。
- ・バスは乗り継ぎが必要だったり時間に拘束されて乗りたくない。しかし、タクシーは料金が高くて使うことができない。もっとバスの運賃が安ければと思う。
- ・タクシーの500円割引は非常によい制度だと思う。やはり直接目的地に行きたいので便利だ。
- ・勝手な要望なのかもしれないが、バス停まで遠いし、待ち時間もある。もっとニーズにあったものを導入してもらえないものか。
- ・免許返納を見据えて、元気なうちから【練習】をしておくという事は非常に、納得できる。是非、機会をとらえて実施したい。
- ・バスの車両を小さくすれば、きめ細かに効率よく運行できるのではないか。
- ・ナイスから蓼沼付近は個人病院も多く、バスを通せば利用者がいるのではないか。
- ・猿倉線を伏見を経由せず矢島方面に向かわせることはできないのか。
- ・東由利線とルートが重なることで乗降制限があるが、コミバスでも行けるようにすれば道の駅やAコープの活性化につながるのでは。

公共交通等「生活の足」に関する  
“ 対話会 ”

< 配布資料 >

地域公共交通網形成計画（第二次）

令和2年度事業

由利本荘市役所 企画調整部 地域振興課

※「対話会」資料の表紙※

公共交通の現状や考え方、これからどうして  
いかなければならないかを10ページにまとめ  
説明しながら意見交換を行った



(石脇老人クラブ 松濤会)



(大内 大倉沢町内会)



(東由利老人クラブ 蔵荘寿会)



(鳥海老人クラブ直根栄寿会)



(由利 田代集落)



(本荘老人クラブ 大楯長親和会)

## 事業2-3①

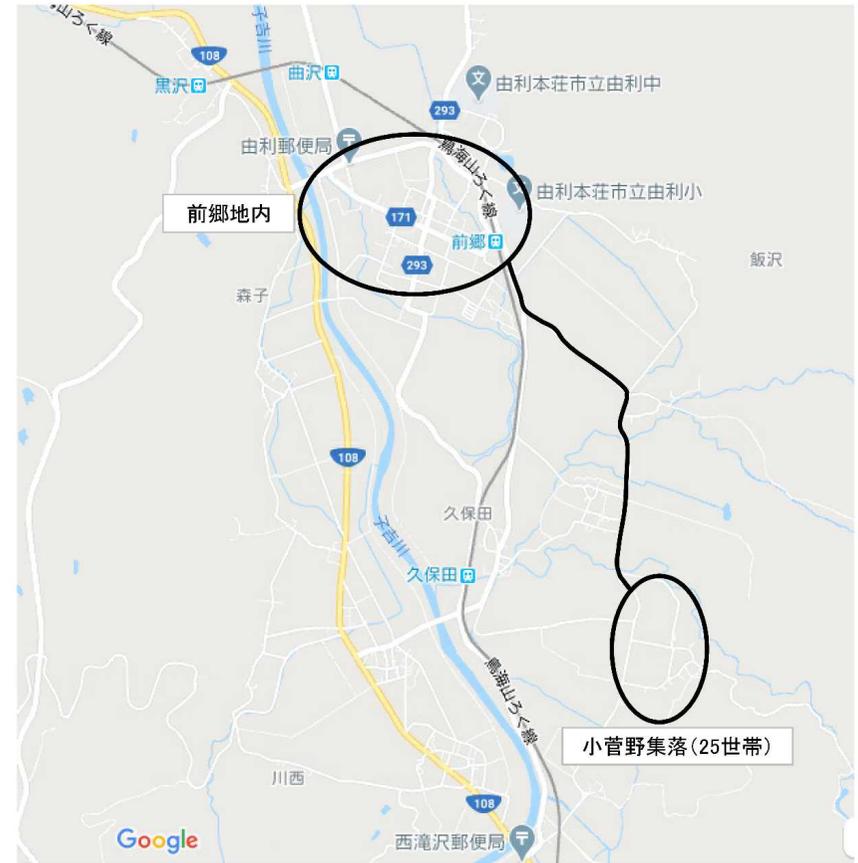
乗り[逢い]交通事業の実施について（由利地域小菅野集落）

### 【運行の概要】

目的	・高齢化や過疎化が進み、運転免許の自主返納や独居世帯などの住民が安心して暮らしていけるよう、自らの地域のことは自ら守るということを目的として事業に取り組むもの。
運営	・小菅野集落の安全と生活を守る会
運行パターン	・互助による輸送
運行範囲	・別紙のとおり
運行概要	<p>【運行】・毎週「火曜・金曜」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅までの送迎</li> <li>・1往復 100円</li> <li>・小菅野出発 1便：10時 / 2便：15時 ※前郷からの帰り時間は利用者の意向を確認して、その都度決める。</li> <li>・利用者は運行前日の午後4時まで電話にて予約する</li> </ul> <p>【開始】4月3日（金）より</p> <p>【利用者】小菅野集落の住民</p> <p>【予約先】渡部完治さん 携帯：090-2277-1531 自宅：53-3084</p> <p>【立寄り】前郷駅、バス停、Aコープ、ニコット、渡邊医院、総合支所、郵便局・信金・農協、ゆりえもんなど前郷地内</p> <p>【保険】損保ジャパン日本興亜（株） 移動支援サービス専用自動車保険に加入する</p>
接続する交通網	<ul style="list-style-type: none"> <li>・由利高原鉄道「鳥海山ろく線（前郷駅）」</li> <li>・羽後交通「本荘伏見線（前郷駅前）」</li> </ul>
配慮すべき交通網	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥海山ろく線並びに本荘伏見線には前郷地内において接続し、利用促進の関係にある。</li> <li>・前郷地内を営業エリアとする（有）ハートワン交通に対し事業内容説明を行い、事業実施について内諾を得ている。</li> </ul>
運賃	・1日4回の運行に加え、小菅野集落と前郷の回送や前郷地内での待機も想定されることを考慮したうえで、必要とされる燃料代の実費の範囲内である。
期間	・令和2年4月3日運行開始
運行車両	・市所有の無償貸与

現在は随時運行に変わっております

### 乗り[逢い]交通事業（由利地域小菅野集落）運行範囲



#### <運行実績>

R2.4.3～R2.12.31 時点  
 運行回数：行き・帰り合わせ 69回  
 利用者数：延べ 92人

#### <利用状況>

随時、前郷地区に買い物に行く方の利用の他、夏休み中の子供の利用や集落において仕事があった際の移動手段としても利用されている。  
 また、12月中旬からは、前郷にある高齢者施設に毎日送迎してもらう方がおり、着実に地域の足として認知され活躍している。

## 事業2-3②

乗り[違い]交通事業の実施について  
(本荘地域 石脇地区「今町、東新山町、上ノ山、長老沼」)

### 【運行の概要】

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高台に位置する当該地域は、町内の中にも起伏があり高齢者にとって徒歩や自転車で移動するのが難しい状況にある。</li> <li>・そのような中、買い物や通院するための最低限の「生活の足」を確保するため乗り合いの移動手段を導入するもの。</li> <li>・当該地域のうち、本事業を利用したいという住民を募り、任意組織を設立して運営していくもの。</li> </ul>
運営	・「石脇新山乗合タクシー」利用者会
運行パターン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合タクシー</li> <li>(道路運送法第4条「一般乗合旅客自動車運送事業」)</li> </ul>
運行範囲	・別紙のとおり
運行概要	<p><b>【運行】</b>・毎週「火曜・木曜」※祝日も運行可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅までの送迎</li> <li>・1乗車(片道)400円</li> <li>・1便(市内行き) 9:00 2便(戻り) 10:30</li> <li>3便(市内行き) 11:00 4便(戻り) 14:00</li> <li>・利用者は運行の2時間前までに電話で予約する</li> <li>・自宅と目的地の間は乗降車できない</li> </ul> <p><b>【開始】</b>令和3年1月5日(火)より</p> <p><b>【利用者】</b>「石脇新山乗合タクシー」利用者会の会員</p> <p><b>【委託先】</b>光タクシー(株)</p> <p><b>【予約先】</b>光タクシー(株)</p> <p><b>【目的地】</b>マックスバリュ本荘中央店</p>
接続する交通網	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽後交通「路線バス」</li> <li>・市コミュニティバス「循環バス」</li> </ul>
配慮すべき交通網	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス各路線がマックスバリュ本荘中央店に隣接する「岩渕下」を通過しているため、目的地として利用頻度の多い由利組合総合病院までの接続ポイントとなり利用促進の位置づけとなり得る。</li> <li>・上記同様に循環バスのバス停もあることから市内各所への移動も可能となり利用促進を図ることが可能となる。</li> </ul>
期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年1月～令和3年3月(試験運行として実施)</li> <li>・令和3年4月以降の運行は試験運行期間の状況により判断する</li> </ul>
運行車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先事業者のタクシー車両</li> <li>・乗用タクシーと区別するためのマグネットシートを貼り運行する</li> </ul>

### 運行内容(案)



#### <運行実績>

R3.1.5～R3.1.14 時点  
運行回数：7回  
利用者数：延べ16人

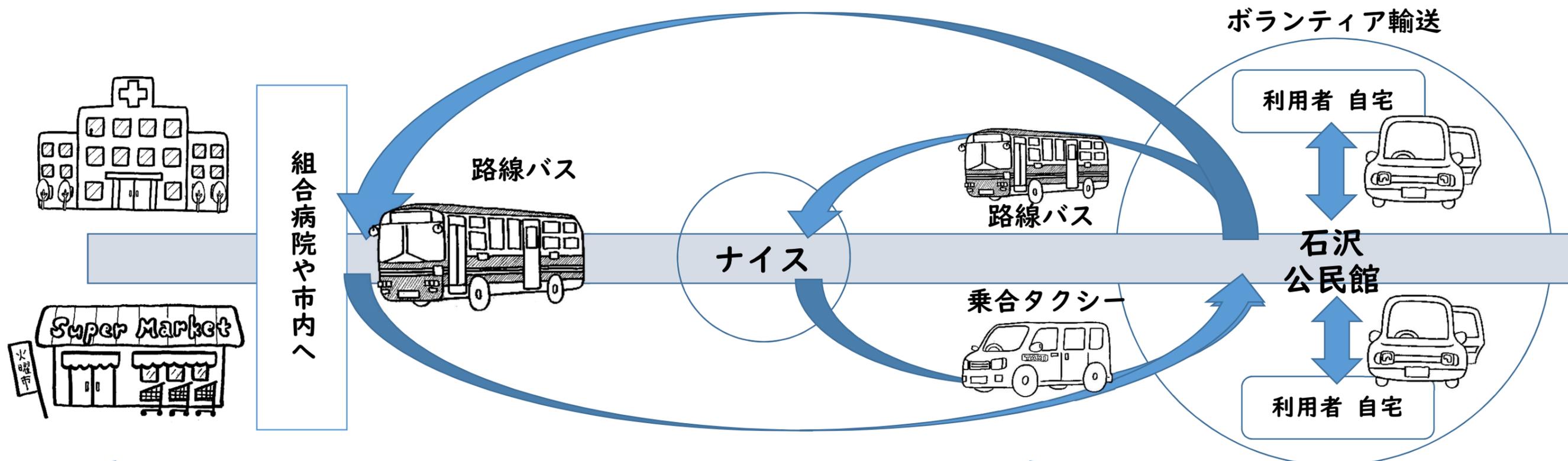
#### <利用状況>

R3.1.5に運行を開始して間もないが、免許を持たない主婦層による定期利用があり、生活の足として活用されている。  
また、岩渕下で路線バスに乗り換えて組合病院へ通院する定期利用者があり、路線バスの利活用にも繋がっている。

「石沢地域交通」の運行スキーム（利用者、ドライバー、地域振興会承認済み）

事業2-3③

＜高齢者の近い将来も見据えながらも、まずは ” 今困っている方 ” が少しでも暮らしやすい地域に＞



【運行日】月曜/木曜 週2日  
(祝日は運休します)

【運行回数】本荘行き1回/戻り3回  
【完全予約制】石沢公民館で予約受付

まずはボランティア輸送で公民館へ

9:00 予約者の自宅を出発 ⇒ 9:20 石沢公民館に到着 **片道: 50円**

**[本荘方面 行き]**

(通院など本荘方面へ)

← [本荘方面行き] か [ナイス行き] を選択

**[ナイス 行き]**

(ナイスへお買い物)

9:27 本荘方面へ出発 ⇒ 9:54 組合病院に到着 **片道: 600円**

★ フレッシュグリーン、薬王堂(荒町)、本荘駅、第一病院などを経由します ★

行きは  
路線バス  
**片道  
420円**  
9:27 石沢公民館を出発  
9:40 ナイスに到着  
↓  
~お買い物 50分間~  
↓

[帰り ①] **片道: 600円**

11:59 組合病院を出発  
12:24 石沢公民館に到着  
12:40 ボランティア輸送で自宅へ

[帰り ②] **片道: 700円**

14:18 組合病院を出発(象潟線)  
14:29 本荘駅に到着 ※乗り継ぎ  
14:35 本荘駅を出発(横手線)  
14:50 石沢公民館に到着  
15:00 ボランティア輸送で自宅へ

公民館までは  
タクシー  
**片道  
700円**  
10:30 ナイスを出発  
10:45 石沢公民館に到着  
10:50 ボランティア輸送で  
自宅へ

＜地域ごとのバスラッピングの導入実績＞ 令和2年度

事業2-4



鳥海地域 中直根線

鳥海地域 猿倉線

法体の滝

本海獅子舞番楽「下直根講中」

貝沢鳥海山ビューポイント

本海獅子舞番楽「猿倉講中」

令和2年度の車両更新に合わせ、鳥海地域の中直根線・猿倉線のバスラッピングを行った。どちらも地域に根ざした素材をピックアップし、地域内のマイバス意識啓蒙に努めている。

なお、実績には載らないが、令和元年度に更新した3台の車両においても同様の趣旨でラッピングを施しており地域内を運行中。

鳥海地域：伏見笹子線（鶯川大橋の鳥瞰図・まいーれ）

大内地域：中田代線（長坂梵天祭り・さつき）／高尾線（折渡のあじさい・葛岡カスミ桜）

<沿線のスーパーや医療機関との連携>

「子吉コミバス推進会議」だより

地域要望により運行を開始したコミバス「子吉線」の利用促進と課題解決を目的とした会議を設立いたしました。過去3ヶ月分の乗車状況や当月の子吉線乗車合計、様々なトピックを記載しておりますのでご覧ください！また、不明な点や子吉線の運行などに係るお問い合わせは市役所「地域振興課」までお願いいたします。  
(企画調整部 地域振興課 TEL:24-6378)

西地区路線(葛法・船岡・藤崎方面)

バス停	便名																					合 計	乗 車 率
	1 宮ノ下	2 宮下神社前	3 葛法公民館前	4 長橋	5 道下	6 船岡公民館前	7 永田下	8 新山	9 藤代入口	10 藤代	11 後野	12 子吉小入口	13 千刈	14 千刈北	15 安楽温泉前	16 本荘高校前	17 佐藤病院前	18 鶴舞温泉	19 本荘公園前	20 カダレ	21 羽後本荘駅		
H31.2 計	6	1	5	11	2	10	3	10	2	3		2	7	13	3		5	8		17	2	110	1.3
H31.3 計	10		2	4	6	6	3	8	2	4	4	3		12		2	7	8		6	1	88	0.8
H31.4 計	3	3	2	5		4	1	5	1	2		1		5		1	1	1	2	7	4	48	0.9
これまでの合計	160	93	121	76	43	171	99	177	76	132	83	61	206	347	27	32	105	200	15	149	161	2534	

東地区路線(玉ノ池・宮内・埋田方面)

バス停	便名																					合 計	乗 車 率
	1 玉ノ池	2 元屋布	3 宮内八幡	4 野添	5 子吉出張所前	6 埋田公民館前	7 埋田	8 家ノ腰	9 二本木	10 あずみ団地	11 子吉小入口	12 千刈	13 千刈北	14 安楽温泉前	15 本荘高校前	16 佐藤病院前	17 鶴舞温泉	18 本荘公園前	19 カダレ	20 羽後本荘駅			
H31.2 計		8	8	3	1		3	1		3		2	6	2	1	1	2		7	4		52	0.8
H31.3 計	2	11	6	2		1	5				2		3		1	3	4		6	6		52	0.9
H31.4 計	5	11	7				5	1	2	5	6	1				3	1		4	6		57	1.0
これまでの合計	50	304	191	33	11	12	138	46	17	133	40	145	96	38	11	133	91	12	156	149		1806	

東地区路線(由利地区 屋敷方面)

バス停	便名													合 計	乗 車 率									
	1 屋敷上	2 屋敷下	3 田代	4 二タ子	5 堰口	6 中畑	7 旧船川小	8 町村	9 蒲田	10 山崎	11 船川駅	12 立井地	13 南福田											
H31.2 計	2	3	1								3											9	0.3	
H31.3 計	2	2	1								4												9	0.3
H31.4 計		2	1								1												4	0.1
これまでの合計	76	55	36	8	10	3	1	9			100	8	19	12									337	

4月の合計	8	16	10	5		4	6	6	3	8	6	2		5		4	2	1	6	13	4	109	0.8
-------	---	----	----	---	--	---	---	---	---	---	---	---	--	---	--	---	---	---	---	----	---	-----	-----

「子吉線でグランマート！」スタンプカード開始します！

6月3日の運行から「子吉線」に乗って千刈のグランマートに行き、1000円以上(税込み)のお買い物をするスタンプがもらえます。スタンプを「6つ」貯めると、次回のお買い物で500円券としてご使用できます。(グランマート本荘南店のみ)

詳しいご利用方法は裏面をご覧ください！



コミバス「子吉線でグランマート！」スタンプカードを活用しよう！

<子吉コミバス推進会議千刈>  
問合せ：市役所 地域振興課  
(TEL:24-6378)

★「子吉線」を利用した方に「乗車証」を交付します。運転手に「スタンプカードの乗車証をください」と声を掛けてください。 ※「乗車証」は交付日限り有効です。



★ランマートに行き、1000円以上(税込み)のお買い物をするとスタンプがもらえます！

※千刈の「グランマート本荘南店」のみ



★スタンプを「6つ」貯めると、次回のお買い物で500円分の買い物券としてご使用できます！

★詳しくは上記「乗車証」をもらい、店内サービスカウンターへお問い合わせください。



10/15から、どこで降りても「乗車証」をもらえます！  
例えば、佐藤病院に行き、帰りに買い物をする場合も使えます！  
(沢山のご利用をいただくため運用方法を緩和しました)

<取り組み状況>

コミバス「子吉線」におけるグランマート本荘南店(千刈)でのスタンプカードを令和元年度から実施している。当初は利用が少なかったが徐々に活用されてきている。

<実績>

(R3.1.18時点)

スタンプカード利用件数：14件 ※R1からの繰越利用含む  
R2のみでは8件

乗車証交付件数：49件 ※R2.4~

2021年1月8日

各位

信金中央金庫

**【創立70周年記念事業】地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」  
～2020年度の寄附対象事業の決定～**

信金中央金庫（理事長：柴田弘之、以下「信金中金」という。）は、創立70周年記念事業として、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の仕組み等を活用した地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」（以下「本スキーム」という。）を2020年7月に創設しております。

本スキームは、2020年度から2022年度までの3年間を実施期間として、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、信金中金が企業版ふるさと納税等を活用した寄附を行うことにより、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫とともに応援し、もって、地域経済社会の発展に貢献することを目的とするものです。

今般、2020年度の寄附対象事業の募集を実施したところ、地元信用金庫の推薦を得た多くの地方公共団体から応募がありました。これらの事業につき、2020年12月に学識経験者等で構成する審査会を行い、103事業（105信用金庫・100地方公共団体）、合計1,018百万円の寄附を決定いたしました。（寄附対象事業は別紙のとおり）

信金中金といたしましては、このような取組みを通じて、地域に根差した存在である信用金庫と地方公共団体との更なるリレーションを強化することで、地域創生に向けた取組みを加速させ、新型コロナウイルス感染症等により影響を受けている地域経済を応援してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

信金中央金庫 IR広報室  
TEL 03(5202)7700

## 事業3-2

別紙

【創立70周年記念事業】地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」  
寄附決定事業一覧（2020年度）

<抜粋>

NO	寄附対象 地方公共団体	推薦信用金庫	寄附対象事業名
1	室蘭市	室蘭	室蘭市のものづくり技術向上による競争力強化と雇用創出
2	岩見沢市	空知	再生可能自立型エネルギーシステム構築事業
3	苫小牧市	苫小牧	苫小牧市事業承継推進事業
4	浦河町	日高	「浦河町観光プロモーション事業」
5	名寄市	北星	再生可能エネルギーによるマチの活力UP事業
6	帯広市	帯広	十勝・イノベーション・エコシステム推進事業（とかち・イノベーション・プログラム）
7	釧路市	釧路	釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizを核とした売上増加及び創業支援事業
8	根室市	大地みらい	日本遺産「鮭の聖地の物語」ブランディング事業
9	遠軽町	遠軽	森林資源を活用した道の駅「遠軽森のオホーツク」に係る観光拠点整備事業
10	八戸市	青い森	八戸市中心市街地活性化事業
11	秋田県	秋田	若年女性県内回帰・定着促進事業（仮称）
12	由利本荘市	羽後	いきいきおでかけ促進「地域交通」ネットワーク化事業
13	山形市	山形	まちなか回遊型音楽会による中心市街地活性化（文化の力を活かした持続可能なまちづくりの推進）
14	米沢市	米沢	西妻山×天元台高原×白布温泉エリア リボーンプロジェクト
15	鶴岡市	鶴岡	サイエンスパークの機能拡充による雇用創出事業
16	盛岡市	盛岡	関係人口でつながる盛岡地元企業等応援プロジェクト
17	宮古市	宮古	商業活性化・賑わいづくり事業
18	奥州市	水沢	胆沢ダム（奥州湖）×カヌー＝賑わい創出事業
19	気仙沼市	気仙沼	ローカルファーストに基づいた地域経済循環推進事業
20	白河市	白河	小峰城整備プロジェクト 「よみがえれ！ 清水門」
21	須賀川市	須賀川	すかがわの宝を活かしたシティプロモーション推進事業
22	南相馬市	あぶくま	①基盤技術産業高度化支援事業 ②創業者支援事業
23	二本松市	二本松	二本松市創業支援事業
24	福島市	福島	「古閑裕而のまち・ふくしま シンフォニー」の推進 ～偉大な功績を後世へ継承するレガシーづくり～
25	富岡市	しのめ	副業人材を軸とする関係人口創出と市内商工業における新たな事業モデル、経済基盤の構築
26	鹿沼市	鹿沼相互	フラワーゾーン整備事業
27	佐野市	佐野	「佐藤さんゆかりの地」聖地化による関係人口増加プロジェクト
28	茨城県	水戸	県北ニューツーリズム推進事業 ※県北（日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町）
29	結城市	結城	古民家・空き店舗再生活用事業
30	川口市	川口 青木	地産地消による市内経済好循環創出事業

## < 通学定期券購入費助成の検討 >

### < 取り組み状況 >

R2. 9に由利高原鉄道が市内の高校生を対象に行ったアンケートにおいて、「定期代が安ければ購入する」という回答が多く、その効果を検証するためR3. 4の一か月間、定期代を半額程度引き下げて購入状況を分析することとなった。

5月以降の制度継続については、4月中に判断することとなる。

## 市 政 情 報

### 割引料金の一例【1カ月】(単位:円)

区 間	割引前	割引後
矢 島	18,230	9,500
川 辺	16,970	8,900
吉 沢	15,400	8,100
西滝沢	15,400	8,100
久保田	13,830	7,400
前 郷	11,950	6,500
曲 沢	11,950	6,500
黒 沢	11,950	6,500
鮎 川	10,050	5,500
子 吉	7,850	4,300
薬師堂	5,650	3,100

鳥海山ろく線を利用して高等学校などへ通学している学生は、近年の少子化や自動車社会の進展などにより過去5年、約6割減少しており、高額な定期料金が鉄道離れにつながっていることが、アンケート調査などから分かっています。

このような状況に対応するため、由利高原鉄道では本年4月の1か月間を試行期間として、高校生などの通学定期券の料金を半額程度に割引することで、利用者の増加を図ることとしました。継続的な実施は、4月の販売状況により判断することとしており、

鳥海山ろく線は、地域住民にとって大切な「生活の足」であるとともに、観光要素を兼ね備えた貴重なシンボルです。この割引が鉄道を将来にわたって存続させるための取り組みであることをご理解いただき、ぜひ積極的な定

### 1

## 由利高原鉄道「鳥海山ろく線」通学定期券半額程度割引(4月の1か月間を試行)

期券購入をお願いします。申し込み受け付け

由利高原鉄道の主要3駅(矢島・前郷・羽後本荘) 事前受け付け開始日

3月1日から必要書類など

新規購入の場合: 通学証明書または学生証  
継続購入の場合: 現在お持ちの定期券



守って育てよう  
「山ろく線」

詳細は、こちらのQRコードから市ホームページをご確認ください。



問い合わせ先  
由利高原鉄道(株)  
56-2736  
または地域振興課  
24-6378



> くらし・手続き > バス・交通 > 由利高原鉄道 通学定期券を半額程度に割引します (試行実施)  
> 行政情報 > 組織・機構 (各課業務案内) > 企画調整部 > 地域振興課 > 由利高原鉄道 通学定期券を半額程度に割引します (試行実施)

### + バス・交通

- 住民票・戸籍・印鑑証明
- パスポート (旅券)
- 税金
- 交通安全・防犯・火災
- 住まい・ペット
- 年金・健康保険
- ごみ・リサイクル
- エコ・再生可能エネルギー
- バス・交通

由利本荘市(市街地)への

### 由利高原鉄道 通学定期券を半額程度に割引します (試行実施)

鳥海山ろく線で高等学校等に定期券通学する利用者は、近年の少子化や、自動車社会の進展などにより過去5年で6割減少しており、高額な定期代が鉄道離れにつながっていることが、アンケート調査などから分かっています。このような状況に対応するため、由利高原鉄道では令和3年4月、1ヶ月間の試行として、**高校生等の通学定期券の料金を半額程度に割引することで利用者の増加を図ることとしました。**継続的な実施は、4月の販売状況により判断することとしており、学生を含め地域の皆様のご協力が不可欠となります。

鉄道による通学は公共の場における社会性を育むほか、規則正しい生活を送ることによる教育的な効果も期待できます。また、令和3年夏には羽後本荘駅のリニューアルが予定されており、より通学しやすい環境が整います。鳥海山ろく線は、地域住民にとって大切な生活の足であるとともに、観光的要素を兼ね備えた貴重なシンボルです。  
この割引が鉄道を将来にわたって存続するための取り組みであることをご理解いただき、ぜひ積極的な定期券購入をお願いいたします。

### 特別割引運賃表

## 鳥海山ろく線 通学定期 旅客運賃表

### 申し込み受付

由利高原鉄道株式会社  
・主要3駅(矢島駅・前郷駅・羽後本荘駅)  
・ファックス: 0184-56-2850  
・Eメール: yr-tokuwari@obako5.com

### 事前受付開始日

令和3年3月1日より

### 必要書類等

新規購入の場合・・・「申込書」および、「通学証明書」または「学生証」  
継続購入の場合・・・「申込書」および、「現在お持ちの定期券」

※「申込書」は主要3駅に備え付けているほか、添付ファイルもご使用いただけます。

### お問い合わせ

由利高原鉄道株式会社  
〒015-0404  
由利本荘市矢島町七日町字羽坂21-2  
電話: 0184-56-2736 / FAX: 0184-56-2850 / Eメール: yr-tokuwari@obako5.com